

木のすまい新聞

「シリーズもつづぐ1年」



木のすまい仕様の家 ゆとりを感じる家

事ですが、本当に大事にしたいのは長年住んでいくうえで居心地の良さ」という言葉の意味を、この家に住み始めて実感されたそうです。また、ご主人こだわりの書斎には一枚板の大きなカウンターがあり、一番のお気に入り場所だとか……。

約120坪の広い敷地。リビングの先には大きな庭が広がっています。「この庭で子供達が裸足で走りまわる光景を目にする日が待ち遠しいです」とM様。パーベキューをしたり家庭菜園をしたりとドンドン夢が広がります。特にこだわったキッチンとパントリー、水廻り、物干し、菜園へと回遊できる主婦動線が、きつとその夢を手助けしてくれるでしょう。



「設計・施工」
ひょうご木のすまい協議会 正会員
株式会社 吉住工務店



「広い敷地でのびのびと子育てや豊かな暮らしをしたい」との思いを胸に土地探しから始まったM様の家づくり。最初に検討されていたエリアではなかなか希望の土地が見つからず紆余曲折はありましたが、丹波篠山へとイターンを決断され、いざ篠山へ。完成見学会や展示場見学で吉住工務店の家に一目惚れされ、自然の力を利用したエアパス工法や考案の方にも共感いただき、本格的に家づくりがスタート。平成27年4月にお引渡しをさせて頂きました。

実際に住まわられての感想は、「なんと、言われても空気感。本当に居心地がいいんです」と奥様。家づくりの最中に言われた「機能や性能は確かに大事な

木の調湿能

住まいの快適性を表す指標の一つに湿度があります。室内で快適な湿度は一般に40〜60%とされており、40%以下になると目や肌、のどの乾燥を感じるだけでなく、インフルエンザウイルスが活動しやすくなり、発生するようになります。この時期、室内が暖房で暖かいと外気に面した窓ガラスに結露した水滴が付く現象は皆さんよくご存知だろうと思います。目に見えるガラス面はまだ拭き取ればいいのですが、家具の後ろなどの目に触れない場所では、結露の水滴が壁のカビを繁殖させ、ダニや細菌をほびこらせる原因ともなり、住んでいる人の健康や住み心地に悪い影響を与えると考えられています。

そこで頼りになるのが木(木材)です。建てて何年経った住宅の柱でも、一本でビール瓶約四本分の水分を吸収するといわれます。そして、室内の湿度が高ければ湿気を吸収し、逆に湿度が低ければ湿気を放出して、結果的に周辺の湿度を一定に保つよう働きます。この働きは木の調湿能といい、この機能のお陰で木の家は湿度を調節してくれると共に結露も防いでくれ、住む人にも快適性を与えてくれるのです。

ひょうご木のすまい協議会

会長 三渡 圭介

木の家

ひょうご木のすまい協議会

Vol. 53

March
April
2016

一 ひょうご木のすまい協議会からのお知らせ 一

「ひょうご木のすまい」産地見学ツアー

県産木材や木造住宅に興味のある皆様は、この機会にぜひご参加ください。生産地(伐採現場)から製材工場・モデルハウスまでの木材の流れをバスで訪ねます。

見学先：伐採現場(宍粟市)・製材所(宍粟市)・モデルハウス(西宮市/宍粟市)



と き：H28年4月23日(土)
8:00~18:30(予定)
費用：大人/1,000円
中学生以下/無料
集合場所：阪急西宮北口
またはJR姫路駅

●申込締切：H28年4月11日(月)

※見学先は変更になる場合があります。詳しくはお問合せ下さい。

一 兵庫県庁林務課からのお知らせ 一

兵庫県の木造住宅ローンのご案内

【融資制度の概要】

融資利率0.9%固定(平成28年3月31日融資実行分迄)

●新築・増改築

融資限度額：2,300万円(返済期間25年以内※)

※県産木材を60%以上使用し、長期優良住宅の場合は返済期間は35年以内に延長可能です。なお、26年目以降の利率は1.9%になります。

●リフォーム

融資限度額：500万円(返済期間10年以内)

※平成28年3月時点の内容です。平成28年4月1日以降の利率等については、4月1日以降に県ホームページ等で公表される予定です。

詳しくは下記のホームページをご覧ください。

URL http://web.pref.hyogo.lg.jp/af13/af13_000000017.html

兵庫県 木造住宅ローン